

ビジネス宣教宣言

2004年に開催されたローザンヌ世界宣教フォーラム¹で、ビジネス宣教の検討グループが結成されて以来、仕事とビジネスにおける神の目的、教会と宣教におけるビジネス関係者の役割、世界における様々な課題とその解決に向けてのビジネスの潜在性について、長年に渡って検討を重ねてきた。検討グループは、世界中から70名を超す参加者で構成された。その多くはビジネス関係者であったものの、その他にも教会や宣教活動における指導者、教育関係者、神学者、弁護士や研究者も含まれた。このグループは、60の文書や25のケーススタディーの作成、いくつかの国や地域でのビジネス宣教の協議会やEメールでのディスカッションを重ね、最後に1週間、直接メンバーが顔と顔を合わせて対話し、協働作業を行った。以下は私たちが検討した内容の一部である。

確認事項

神がその似姿にすべての男性と女性を創造され、それは自分自身のためだけではなく、他者のためにも善きものを生み出す創造力をもった存在として造られた、ということを私たちは信じる。

イエスはこの地上の生涯で出会った人々の必要を常に満たし続けた。私たちはそのイエスの足跡を辿ることによって、神の愛と神の国の支配を証しすることができると思っています。

キリストの体なる教会に集うすべての人々が、他者の霊的・肉体的な必要を抱えた他者に仕え、その必要を満たす働きを担うことで、神の国をこの世に表すよう、**聖霊なる神**が力づけてくださるということを私たちは信じる。

ビジネス関係者が自身のビジネスの現場で、そしてその仕事を通して、神の国の影響を及ぼすことができるよう、神が人々をそのために召しだし、また整えてくださるお方であることを私たちは信じる。

福音には、個人、コミュニティーそして社会全体を変革する力があることを私たちは信じる。よって、ビジネスの現場におけるクリスチャンは、そのビジネスを通して包括的な変革の一端を担うべきである。

貧困や失業は多くの場合、イエスの御名がほとんど聞かれず、理解されていない地域で起こっているという現実がある。

いまこそビジネスが更に発展する必要があるが、その重要性も日々高まっている。しかし、それは単にビジネスそのものが拡大することを意味しない。ビジネス宣教は、神の国の視点、目的、そしてインパクトをもたらすビジネスのことである。

世界中では雇用が創出され、ビジネスが更に拡大して行く必要性が叫ばれている。それは、霊的、経済的、社会的、環境的な変革という4つの目的を目指すものである。

クリスチャンのビジネスコミュニティーは、彼らのビジネスの現場で、そしてその仕事を通して世界の必要を満たし、また市場やあらゆる社会の領域において、神に栄光をもたらすことができる。そのような大きな潜在性が教会にはあるものの、これまで着目されてこなかった現実がある。

奨励

ビジネスに携わる人々と起業家が、その与えられた賜物と召しに応じてビジネスを実践し、世界中の人々に働きかけ、世界の果てにまで影響を及ぼすことができるようになることを私たちは願う。そのために、世界中の教会が、ビジネスに携わる人々の存在を認識し、彼らのことを肯定的に受け止め、祈り、委任し、送り出す存在となるよう私たちは求める。

ビジネスに携わる人々が、この宣言を受け入れ、ビジネス宣教を通して世界の霊的・肉体的必要に応えるために、彼らの賜物と経験が活かされるようになることを私たちは求める。

結論

ビジネス宣教における真の目的は、**AMDG - *ad maiorem Dei gloriam***、神の更なる栄光のためにある。

ビジネス宣教検討グループ

2004年10月

担当チーム

マッツ・ツネハグ

ウェイン・マグギー

ジョシー・プラマー

www.businessasmission.com

1 ローザンヌ世界宣教委員